

本学の産学官連携部門を外部法人化した 「株式会社はままつ共創リエゾン奏（かなで）」の設立について

国立大学法人浜松医科大学（所在地：静岡県浜松市、学長：今野弘之、以下「浜松医科大学」）は、国立大学法人として初めて学内組織の産学官連携部門を完全に廃止し、文部科学大臣の認可を受け、「株式会社はままつ共創リエゾン奏（かなで）（以下、はままつ共創リエゾン奏）」を令和6年4月1日付で設立しました。

はままつ共創リエゾン奏は、浜松医科大学がほぼ100%出資する大学発スタートアップで、浜松医科大学の医療現場のニーズおよび研究シーズを中心に、国内外の大学、企業、医療機関等との共同研究・開発をプロデュースし、スピード感をもって一気通貫のマネジメントを行うことにより、研究を推進してビジネスを創出します。

1. はままつ共創リエゾン奏（かなで）とは

大学の産学官連携活動の強化を図るためには、教員の研究エフォートの確保とともに、大学のシーズ・ニーズを基に自ら共同研究を企画し、民間企業等に提案するような積極的な産学官連携の推進体制が必要不可欠です。また、契約においてもスピード感を持った手続きが求められており、進行中の共同研究に対しても、企業等から期待されている成果が早く得られるよう、研究進捗管理等の支援活動の強化が急がれています。

大学内にある産学官連携組織は、教員やコーディネーターが時限付き任期であることが多く、業務の持続性に問題がありました。また、意思決定に時間がかかること、大学全体の人事給与体系が適用されるため、産学連携に特化した職務や能力に見合った処遇が困難であるなど、大学の構造的課題のために積極的で活発な産学官連携活動は学内組織では難しい面もありました。浜松医科大学はこれらの問題を解決し、より積極的に産学官連携活動を推進するために、学内の産学官連携組織を完全に廃止し、新たに外部法人「はままつ共創リエゾン奏」を設立しました。

●はままつ共創リエゾン奏の強みは、

1. 医療現場のニーズに基づいた医療機器等の研究開発ができる
 2. 浜松医科大学の強みである光医学、精神医学等の研究シーズを多数有している
 3. 医療機器の開発プロセスを知っている
 4. 連携する医師・看護師が多数いる
 5. 連携する医療機関が多数ある
 6. 医学教育現場と直結している
- ことです。

また、浜松地域はものづくり産業の集積地であることから、医療現場のニーズ、研究シーズ及び浜松の地域性、それぞれの強みを活かし、医療現場のニーズに応じた製品化、商品化、社会実装を強力に進めることが可能です。

“はままつ共創リエゾン奏”の強み

● 医療の現場にいる

- 医療現場の **ニーズ** に基づいた研究開発が可能
- 医療の **シーズ** を多数保有



- 連携する **医師・看護師** が多数
- 連携する **医療機関** が多数
- 医学 **教育現場** と直結

● 地域の工・情報系大学、ものづくり企業との強い連携がある

医工連携拠点を12年間運営

● 市民参加型実証の場がある

浜松ウエルネス・ラボ

● 第一種医療機器製造販売業（出口）の浜松医大発スタートアップがある

- 光医学、精神医学等の **研究シーズ** を多数保有

はままつ医工連携拠点 2011年～



医療機器の製品化実績 20件（2011～2022）



株式会社はままつメディカルソリューションズ

2. 会社概要

会社名：株式会社はままつ共創リエゾン奏
 所在地：浜松市中央区半田山 1-20-1 浜松医科大学医工連携拠点棟内
 設立日：2024年4月1日
 代表者：代表取締役社長 山本清二
 資本金：15,020千円
 主要株主：浜松医科大学

3. 株式会社はままつ共創リエゾン奏の業務

